

日本農薬学会農薬生物活性研究会第 31 回シンポジウムの開催について

日本農薬学会の学術小集会のひとつである農薬生物活性研究会は、第 31 回シンポジウムを開催いたします。皆様、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

開催概要

日 時：平成 26 年 4 月 25 日（金）10:00～16:50
 会 場：東京農業大学 校友会館グリーンアカデミー 3F 大会議室
 参加費：一般 3,000 円，学生 1,000 円

プログラム(案)

10:00～10:05	開会あいさつ	濱村謙史朗（農薬生物活性研究会委員長）
	第一部 殺虫剤	
10:05～10:40	メタフルミゾン（アクセルフロアブル）の生物活性とその特徴	海野 大（日本農薬）
10:40～11:15	新規殺虫剤アフィドピロベンの生物活性	堀越 亮（MeijiSeika ファルマ）
11:15～11:50	アバメクチン（アグリメック）の特性と害虫防除への活用	杉井信次（シンジエンタジャパン）
11:50～13:00休憩（昼食）.....	
	第二部 殺菌剤	
13:00～13:35	新規殺菌剤フルキサピロキサドの生物活性（仮題）	山下慶晃（BASF ジャパン）
13:35～14:10	新規殺菌剤フェンピラザミンの生物活性（仮題）	廣富 大（住友化学）
14:10～14:45	新規殺菌剤エタボキサムの生物活性（仮題）	井上拓也（住友化学）
14:45～15:00休憩.....	
	第三部 除草剤	
15:00～15:35	新規除草剤インダジブラムの生物活性（仮題）	小淵茂俊（バイエルクロップサイエンス）
15:35～16:10	新規除草剤イプフェンカルバゾンの生物活性（仮題）	近藤 智（北興化学工業）
16:10～16:45	新規除草剤メチオゾリンの生物活性（仮題）	生田英二（エス・ディー・エス パイオテック）
16:45～16:50	閉会あいさつ	濱村謙史朗（農薬生物活性研究会委員長）

公益財団法人日本植物調節剤研究協会
 東京都台東区台東 1 丁目 26 番 6 号
 電話 (03) 3832-4188 (代)
 FAX (03) 3832-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人	日本植物調節剤研究協会 理事長 小川 奎
発行人	植調編集印刷事務所 元村 廣司
発行所	東京都台東区台東 1-26-6 全国農村教育協会 植調編集印刷事務所 電話 (03) 3833-1821 (代) FAX (03) 3833-1665

平成 26 年 3 月発行定価 525 円（本体 500 円 + 消費税 25 円）
 植調第 47 巻第 12 号 (送料 270 円)

印刷所 (尚ネットワン)